

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

記入日: 7/24/2018

■参加プログラム: IARU Global Summer Program

ANU1: From Australia to the world: Landscapes of politics and power

■プログラム情報: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-IARUGSP.html>

■派遣先大学: オーストラリア国立大学(ANU)

■プログラム期間: 6/18/2018 ~ 7/7/2018

■東京大学での所属学部・研究科等: 法学部

■学年(プログラム開始時): 学部 3

■参加にあたってこの時期を選んだ理由:

留学後で空いていたため

■参加を決めるまでの経緯:

以前より ANU に関心があったため

プログラムについて

■概要:

座学のような講義はなく、全て訪問やフィールドワークなど。あらかじめ自分で勉強しておく必要がある。

■学習・研究以外の活動で取り組んだもの:

取り組んでいない

■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由:

そのような機会がなかった。

■週末の過ごし方:

近くの都市への旅行など

派遣先大学の環境について

■設備:

良好

■サポート体制:

かなり介入してくる

プログラム期間中の生活について

■宿泊先の種類:

学生寮

■宿泊先の様子、どのように見つけたか:

大学からの紹介

■気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等:

最寄りのスーパーが徒歩 30 分で、交通機関もほぼないため、徒歩または車で移動。

■お金の管理方法、現地の通貨事情:
ほぼクレジットカード
■治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理:
特になし
■自由時間に利用した交通手段:
Uber
■プログラム期間中に利用したネット環境:
キャンパス Wifi、SIM

参加前の準備・手続きについて

■プログラムへの参加手続き:
応募書類の締め切りを守ること。
■ビザの手続き:
仲介業者に依頼
■医療関係の準備:
特になし
■保険関係の準備:
特になし
■東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続き:
単位申請のためにもプログラムの詳細を取っておくべき
■語学関係の準備:
特になし

費用・奨学金に関すること

■参加するために要した費用:	
航空費	120000 円
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)	50000 円
教科書代・書籍代	0 円
海外留学保険料(東京大学指定のもの)	10000 円
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)	0 円
■その他、補足等:	
■留学先で費やした生活費:	
家賃	0 円
食費	0 円
交通費	0 円
娯楽費	60000 円

■その他、補足等:
■プログラム参加のための奨学金の受給有無:
受給した
■奨学金の支給機関・団体名等:
トビタテ
■受給金額(月額):
120000 円
■受給金額についての補足等:
■奨学金をどのように見つけたか:
大学(本部国際交流課)からの案内

プログラムを振り返って

■プログラムに参加したことの意義、その他所感:
海外に一人で滞在する、という経験を求めているならば、有意義ではあったが、内容に関してはあまり得るものがなく、残念であった。
■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響:
関心分野である内容について学ぶ良い機会であったが自分には向いていないということがわかり、キャリアパスを再考するきっかけとなった。
■進路・就職先(就職希望先):
公的機関 公務員
■今後参加を考えている学生へのメッセージ、アドバイス:
内容を吟味するべき
■準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物:
特になし

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

記入日: 7/25/2018

■参加プログラム: IARU Global Summer Program

ANU1 From Australia to the world Landscapes of politics and power

■プログラム情報: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-IARUGSP.html>

■派遣先大学: オーストラリア国立大学(ANU)

■プログラム期間: 6/18/2018 ~ 7/7/2018

■東京大学での所属学部・研究科等: 教養学部

■学年(プログラム開始時): 学部 1

■参加にあたってこの時期を選んだ理由:

授業がなく、またサークルの大きなイベントがなかったから。

■参加を決めるまでの経緯:

2月ごろにこのプログラムを見つけ、以前から一度海外に行きたいと思っており、この時期この負担額なら参加できると考えて参加すると決めた。

プログラムについて

■概要:

予習では様々な論文や動画を与えられ、そこからある程度の知識をつける必要があった。授業は基本的に専門家に対して生徒が質問をぶつけ、答えてもらうというスタイルだったが、博物館や記念館などを訪ねる機会も多々あった。週末までにその週の講義を受けて考えたことをまとめる課題があった。

■学習・研究以外の活動で取り組んだもの:

取り組んでいない。

■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由:

プログラムに組み込まれていなかったから。

■週末の過ごし方:

土曜は課題をこなすだけで終わった。日曜はキャンベラ内の博物館や記念館、植物園などに行った。

派遣先大学の環境について

■設備:

24 時間利用可能な図書館で勉強できた。寮内の食堂で食事でき、またキャンパス内に他の飲食店もあった。

■サポート体制:

自分はかなり語学面に問題があったが、授業の後で分からなかった点についての質問に答えてもらった。学習面についても、もし課題を完成させることに無理がある場合易しい代案を出してもらえた。

プログラム期間中の生活について

■宿泊先の種類:

学生寮

■ 宿泊先の様子、どのように見つけたか：
一般の学生も利用する学生寮のうち、長期休みで留守にされている個室の一室を使わせてもらっていた。空調、水道、冷蔵庫があり、さらに共用の洗濯機と乾燥機、給湯器などがあつた。ただし洗濯物を干すハンガーや洗濯用洗剤はなかつた。また暖房により非常に空気が乾燥したが、加湿器はなかつた。
■ 気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等：
かなり寒く、朝は氷点下だった。シドニーとは10°C近い差があるのを知らず、外出時手持ちの服ではかなり寒かつた。天気はよかつたが数日だけ雨が降つたため折り畳み傘が役に立つた。手袋や帽子を持っていた方が良かつたかもしれない。大学周辺は娯楽施設は少なかつたが飲食店はあつた。ただしカフェは土日に関まつるところが多かつた。交通機関はバスが中心だったがあつても十分可能だった。
■ お金の管理方法、現地の通貨事情：
1万円相当を現金として持ち、残りはクレジットで払つたが、ほとんどの店でクレジットカードが使えたので現金はもっと少なくてもよかつた。ただし一部の飲食店では現金払いのみだった。
■ 治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理：
頭を使うので疲労が凄まじく、他の参加者と同様に夜遊んでいると次の日に疲労が残ってしまったので、早めに寝るようにしていた。
■ 自由時間に利用した交通手段：
バス
■ プログラム期間中に利用したネット環境：
キャンパス Wifi、レンタルしたルーター、SIM

参加前の準備・手続きについて

■ プログラムへの参加手続き：
本部国際交流課に提出する書類以外に、留学先大学のサイトにアクセスするためのアカウントを所得し、プログラムの概要が掲載されたファイルをダウンロードした。あまりにページ数の多いファイルだったためろくに読まなかつたが、最後の方に重要な情報がたくさん載っていたため見ていかなかつたことを後悔した。
■ ビザの手続き：
観光ビザを民間会社を通して取得した。1週間ほどで取得できた。
■ 医療関係の準備：
大学の健康診断を受けた以外は全く何もしなかつた。
■ 保険関係の準備：
東京大学で指定されているものに申し込んだ。
■ 東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行つた手続き：
海外渡航届を提出した。渡航届には書かねばならない情報が多く、提出が遅れてしまうので航空券の手配や留学先大学との連絡などといった準備を早めしておくべきだった。
■ 語学関係の準備：
秋に IELTS を受験するために勉強して以来勉強していなかつた。ただ、先生の指示が聞き取れないことが多く苦労したので、リスニングはなんらかの方法で強化するべきだった。

費用・奨学金に関すること

■参加するために要した費用:

航空費	100000 円
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)	120000 円
教科書代・書籍代	0 円
海外留学保険料(東京大学指定のもの)	15000 円
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)	0 円

■その他、補足等:

■留学先で費やした生活費:

家賃	0 円
食費	10000 円
交通費	1000 円
娯楽費	0 円

■その他、補足等:

■プログラム参加のための奨学金の受給有無:

受給した

■奨学金の支給機関・団体名等:

JASSO,東京大学

■受給金額(月額):

70000 円

■受給金額についての補足等:

■奨学金をどのように見つけたか:

大学(本部国際交流課)からの案内

プログラムを振り返って

■プログラムに参加したことの意義、その他所感:

自分の英語力は不十分だったが、それでもプログラムをやりきったという自信をつけることができたという点で満足した。

■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響:

海外での病院研修という選択肢を得た

■進路・就職先(就職希望先):

研究職, 専門職(法曹・医師・会計士等)

研究医

■ 今後参加を考えている学生へのメッセージ、アドバイス:

大変ではあっても、書類には隅から隅まで目を通すのが大事

■ 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物:

GOGLOBAL のサイト

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

記入日: 10/24/2018

- 参加プログラム: IARU Global Summer Program
- プログラム情報: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-IARUGSP.html>
- 派遣先大学: オーストラリア国立大学(ANU)
- プログラム期間: 6/18/2018 ~ 7/7/2018
- 東京大学での所属学部・研究科等: 教養学部
- 学年(プログラム開始時): 学部 2

■参加にあたってこの時期を選んだ理由:
進学振り分けに必要な単位をすでに取得し終えており、学期中でも留学できたから
■参加を決めるまでの経緯:
海外の学生と世界トップレベルの大学で学ぶチャンスと聞き、東京大学にいる間しかできないことだと認識したので参加を決めた。日本での課外活動との両立を迷ったが、1年生の1月に参加を決めた。

プログラムについて

■概要:
理論的なレクチャーは全くなく、研究機関・シンクタンク・政府機関・大使館・博物館などでのフィールドワークを繰り返した。
■学習・研究以外の活動で取り組んだもの:
取り組んでいない。
■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由:
わずか3週間の留学プログラムでは課外活動に十分な時間が確保できなかったから。
■週末の過ごし方:
キャンパス周辺をランニングしたり、サイクリングしたりしたほか、キャンベラ内の観光地(Telstra Tower など)を周遊した。

派遣先大学の環境について

■設備:
Wifiはキャンパス内のほとんどの場所で利用可能。図書館は24時間空いているスペースがあった。
■サポート体制:
自分は当事者ではなかったが、学生間に生じた人間関係の不和を解消すべく指導教員がサポートしてくれた。

プログラム期間中の生活について

■宿泊先の種類:
学生寮
■宿泊先の様子、どのように見つけたか:
キャンパスの周縁にある学生寮を大学側が手配してくれた。部屋は個室で、食事は質・量ともに申し分なかった。ハンガー、シャンプー、石鹸、洗剤などはないので、日本から持っていくか、現地で調達する必要

がある。
■ 気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等：
非常に乾燥しており、寒冷的な気候だった。学生寮の食事は質・量ともに申し分なく、外食のバラエティも充実していた。
■ お金の管理方法、現地の通貨事情：
現金引き出しに Citibank の口座を活用したほか、クレジットカードを多用した。
■ 治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理：
特に心配する必要がなかった。
■ 自由時間に利用した交通手段：
列車、バス
■ プログラム期間中に利用したネット環境：
キャンパス Wifi

参加前の準備・手続きについて

■ プログラムへの参加手続き：
学内申請書
■ ビザの手続き：
ETA(オーストラリアの短期滞在用ビザ)を取得した。
■ 医療関係の準備：
特に何もしなかった。
■ 保険関係の準備：
付帯海学に加入した。
■ 東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続き：
1年生のうちに進学選択に必要な単位をすべて取り終えていたので、セメスターの途中でも単位の心配なく渡航できた。
■ 語学関係の準備：
TOEFL iBT を申請期限ぎりぎりまで受験し、99 点を取得した。自分が受けたのは 1 月末だったが、IELTS の団体受験などを活用し、もう少し早めに準備しておくべきだった。

費用・奨学金に関すること

■ 参加するために要した費用：	
航空費	100,000 円
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)	120,000 円
教科書代・書籍代	0 円
海外留学保険料(東京大学指定のもの)	7,000 円
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)	0 円
■ その他、補足等：	

■留学先で費やした生活費:	
家賃	120,000 円
食費	0 円
交通費	5,000 円
娯楽費	40,000 円
■その他、補足等:	
■プログラム参加のための奨学金の受給有無:	
受給した。	
■奨学金の支給機関・団体名等:	
東京大学/JASSO	
■受給金額(月額):	
140,000 円	
■受給金額についての補足等:	
東京大学と JASSO からそれぞれ 7 万円ずつ	
■奨学金をどのように見つけたか:	
大学(本部国際交流課)からの案内	

プログラムを振り返って

■プログラムに参加したことの意義、その他所感:
良い成績をとることへのモチベーションと、海外留学への関心が高められた。
■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響:
1 年間の海外留学を経た後で就職しようとするようになった。
■進路・就職先(就職希望先):
公的機関、民間企業、官公庁、コンサル
■今後参加を考えている学生へのメッセージ、アドバイス:
参加を迷っているなら、ぜひ参加してほしいです。
■準備段階やプログラム参加中に役に立ったウェブサイト、出版物:
IARU Global Summer Program のウェブサイト